

# 浪江町ニホンザル対策マップ

最終更新日：2023年9月27日

## はじめに

住民の皆様におかれましては、日頃より浪江町の鳥獣対策にご尽力いただき、心より御礼申し上げます。

町で暮らすうえで鳥獣被害は身近な問題であり、継続的な被害対策が必要となっております。そのことが生活をしていくにあたって一つのハードルになっていることは間違いありません。特に、令和5年度はニホンザルの群れが今まで出没していなかった地区に出没し、「襲われるのではないか」、「対策の仕方がわからない」といった不安の声が寄せられました。

町ではこれまで、地区のニホンザル対策をサポートする形で、捕獲事業や放置果樹の伐採事業を実施してきましたが、他地区の対策を共有する機会を十分に確保できておりませんでした。そこで、本マップを作成し、町内の地区対策をまとめ、情報提供をさせていただき運びとなりました。本マップが、地区対策の一助となれば幸いです。






依然として、課題は多く残りますが、町でも誠心誠意サポートさせていただきたいと考えておりますので、「住んでよかった浪江町」を目指して一緒に頑張りましょう。

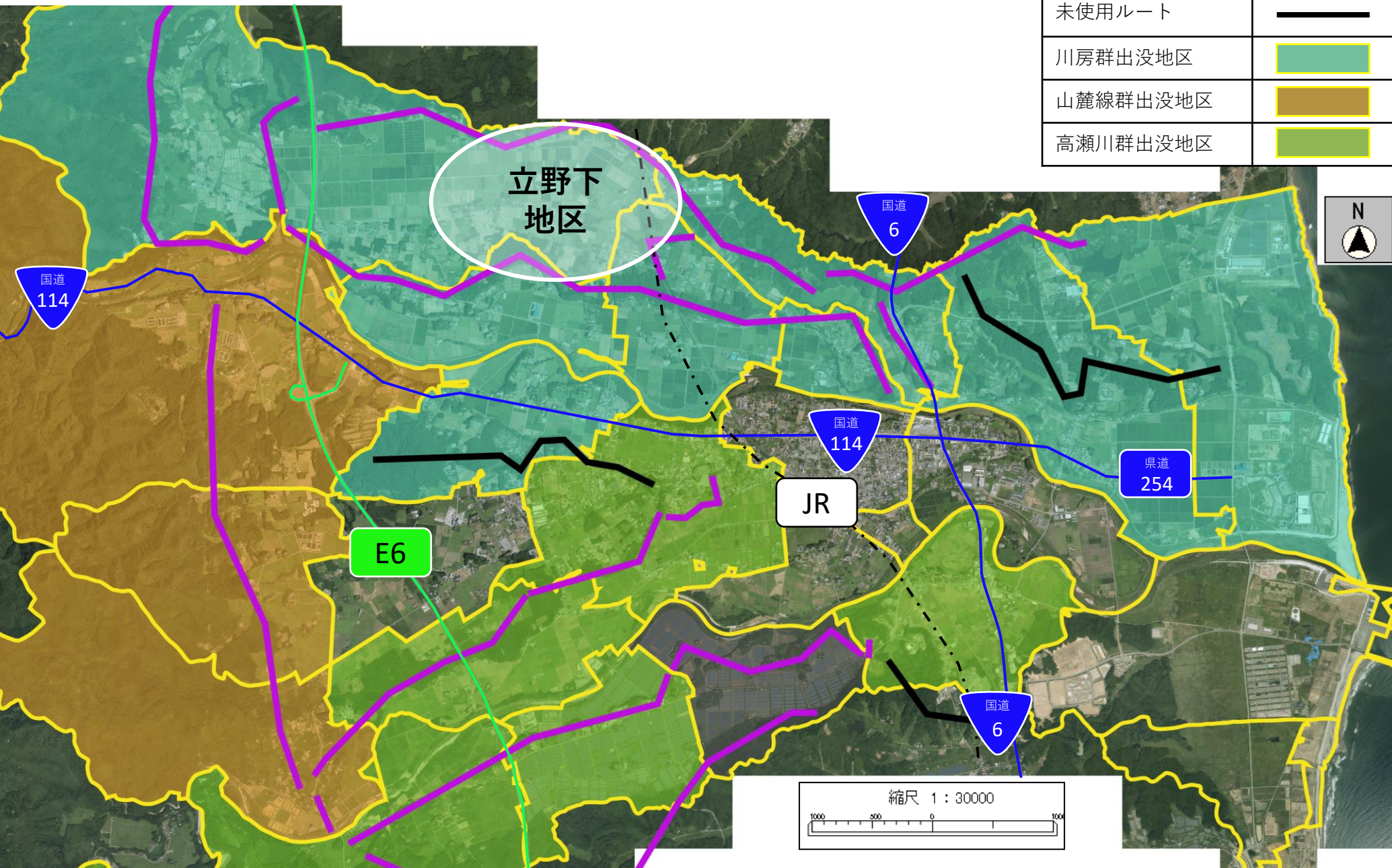
浪江町 農林水産課農林水産係

## マップの見方

- ・町内で過去にGPSによる追跡が行われた群れのみ行動圏を記載しています。
- ・本マップは最新の情報が入り次第、随時更新いたします。
- ・マップ上の「使用ルート」はニホンザル群れが移動に使用する林帯を線状で示したものです。
- ・マップ上の「未使用ルート」は以前はニホンザル群れが移動に使用していた、または今後使用する可能性のある林帯を線状で示したものです。



# 解除区域全域(津島以外)

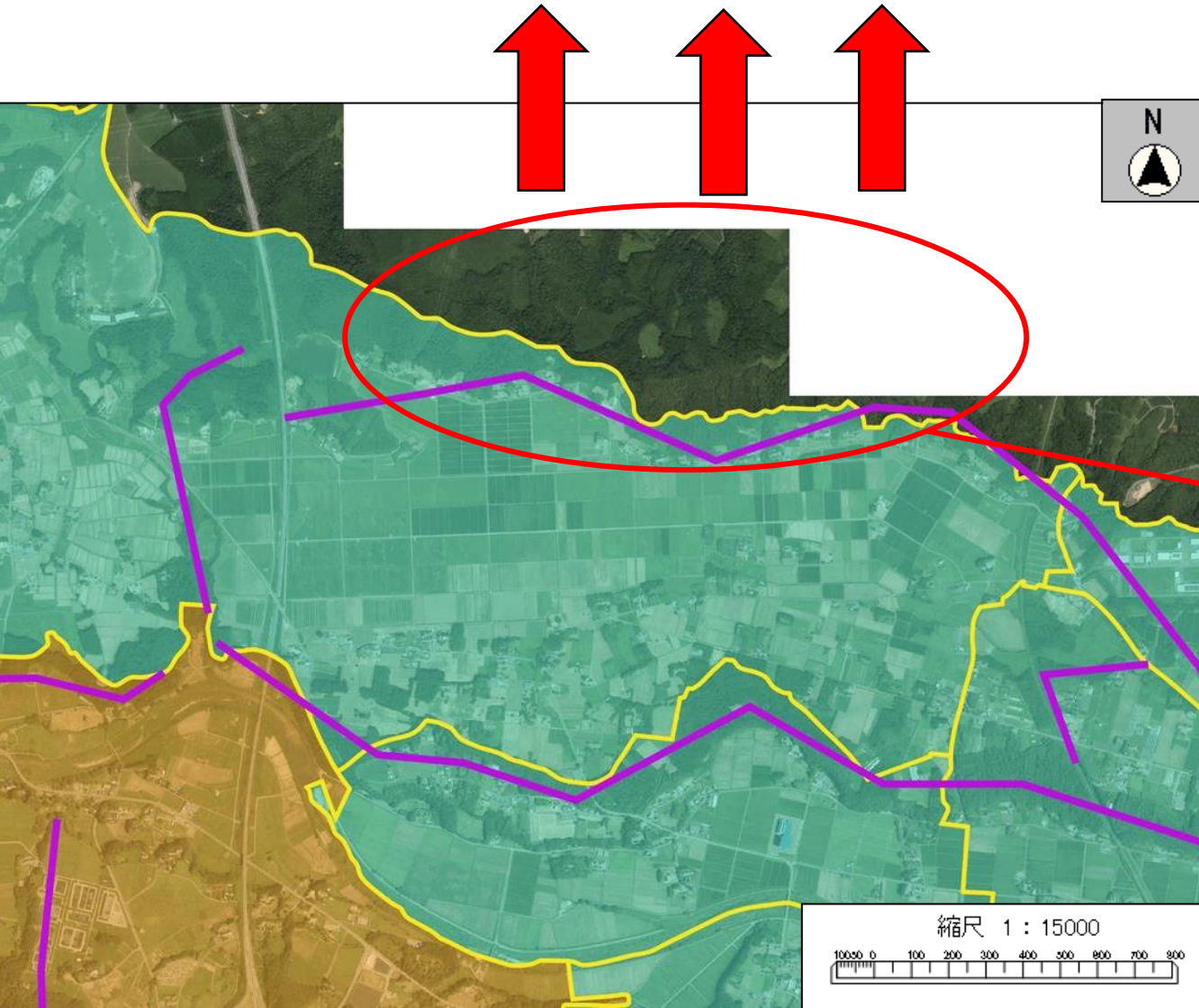
凡例	
使用ルート	
未使用ルート	
川房群出没地区	
山麓線群出没地区	
高瀬川群出没地区	





# 立野下地区

凡例	
	対策エリア
	追い払い方向



対策：追い払い  
ニホンザル群れ目撃時に連携して山間部へ追い払いを実施しています。

# 立野下地区

## これまでの経過

※赤文字は町事業

時期	要因	やったこと	効果
令和元年	帰還後ニホンザルによる家屋被害や作物被害が発生。サルも人を怖がらない状況	追い払い花火購入し、サル発見時に追い払いを実施(1名)	2~3回実施後にはサルに顔を覚えられ、追わなくても逃げるようになる。
令和2年	近隣で花火の音が聞こえ、対策に興味を持ち始める方が増える	追い払いを実施する方が増加。個人間での情報共通が実施される。(5名程度)	サルが逃げた先にいる住民も追い払いを行うようになり、連携して地区外に追い払えるようになった。
令和3年	地区に点在する放置果樹がサルを呼び寄せる原因となっており、追い払っても再度やってくる。個人で伐採が難しく、管理しきれない。	<b>放置果樹伐採事業</b> →行政区長を中心に住民の皆さんで鳥獣の寄り付く果樹を20本ピックアップ。	伐採しきれなかった果樹にニホンザルが寄り付くようになったため、引き続き伐採が必要。
令和3年~	地区に出没するサル群れは頭数が多く、追い払うのに時間がかかる。住民のみでは捕獲が実施できない。	<b>浪江町ニホンザル管理対策事業</b> <b>130頭→49頭に頭数減少</b>	群れの広がり小さくなり、追い払いが容易になる。また、追い払いの頻度も減少した。
令和5年	今までは個別で追い払いを実施していたため、地区単位で対策を検討することがなかった。	地区でニホンザル対策の作戦会議を実施(5名参加)	ニホンザル追い払い方向が決定。
現在		追い払いを継続	今年度家庭菜園および農作物の被害は0

## 対策結果を踏まえての変化



### 対策者の声

対策前は住宅のアンテナを破壊したり、敷地内にも侵入していたので、家の窓は不安で開けることができませんでした。**今では日中の農作業中に窓を開けて換気をして不安を感じない程度にサルは近づかなくなりました。**対策は継続が肝心なので、これからもしっかりと実施していきます。



打合せ時の様子



追い払いの実演